

レジメン名

capecitabine+bevacizumab

出典 Lancet Oncol 2013;14:1077-85  
ゼロ-ダ適正使用ガイド2011年11月改訂

## 実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

結腸・直腸癌

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
  

## 投与減量の基準

WBC	2000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	50000/mm <sup>3</sup> 未満
その他	上記の時の減量の目安 Capecitabine: 2000mg/m <sup>2</sup> →1600mg/m <sup>2</sup> →1280mg/m <sup>2</sup> CLcrが30-50mL/minの患者ではCapecitabineを25%減量		

## 投与中止の基準

WBC	3000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	75000/mm <sup>3</sup> 未満
CLcr	30mL/min未満		
その他	G4の高血圧、ネフローゼ症候群、消化管穿孔、 血栓塞栓症、G4の手足症候群		

1クール期間 21日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1, d8等)
ベバシズマブ	7.5mg/kg	NS100mL	初回90分*	d1
カペシタビン	2000mg/m <sup>2</sup> *	朝、夕食後		d1タ-15朝
※初回90分で忍容性が良好であれば2回目60分、3回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
	*体表面積ごと投与量を決める 1.36m <sup>2</sup> 未満: 1200mg/回 × 1日2回 1.36m <sup>2</sup> 以上~1.66m <sup>2</sup> 未満: 1500mg/回 × 1日2回 1.66m <sup>2</sup> 以上~1.96m <sup>2</sup> 未満: 1800mg/回 × 1日2回 1.96m <sup>2</sup> 以上: 2100mg/回 × 1日2回			

1日投与順 (経時的にプレメーション・ポストメーション、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL (ルート確保用)
②ベバシズマブ7.5mg/kg+生食100mL(90分*) (2回目60分、3回目以降30分まで短縮可)
③生食50mL(フラッシュ用)
day1タ-15朝 カペシタビン錠 2000mg/m <sup>2</sup> 分2で服用